



ロータリー：変化をもたらす

RI 会長

イアン H.S. ライズリー

# 新潟南ロータリークラブ

- 例会場 / 新潟市中央区川端町 6 丁目 53 ホテルオークラ新潟 TEL 025-224-6111
- 事務所 / 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5 F  
TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051 e-mail niigataminamirc@wine.ocn.ne.jp
- 例会日 / 水曜日 12 時 30 分
- 会長 / 富山 修一 幹事 / 田村 淑文 会報・雑誌委員長 / 西脇 郁夫

## WEEKLY REPORT

No.2852 2018.04.25 wed

ロータリーソング ①「四つのテスト」 ②「ROTARY」

3) 委員会報告

・ロータリー財団委員会 (服部 正 委員長)

1) 富山 修一 会長挨拶



4月21日に田村幹事と一緒に新潟中央RC25周年記念式典に行っておりました。韓国の鄭美愛さんが来ておりましたが彼女は米山奨学生で筑波大学で学びノンキャリアで総領事になられたそうです。

新茶の季節になりました。お茶は日本で栽培されている「チャノキ」と「アッサムチャ」に分類され、チャノキはカテキンが少なく、アッサムチャは逆に多く発酵しやすいそうです。熱を加え発酵を止めたのが日本茶で不発酵茶です。発酵をしたのがウーロン茶や紅茶になります。商用としての北限は新潟県村上市で1620年から始まり生産量は37トンです。玉露は収穫前の二週間は日光を遮りタンニンを押さえ甘みを増します。番茶は緑茶の一種ですが市場流通品では規格外で低級品のお茶を指し、普段使いのお茶です。ほうじ茶は煎茶や番茶、茎茶を焙煎したものです。ほうじ茶は独特の香ばしさがあ、苦みや渋みはほとんどなく口当たりはあっさりして刺激が少なく胃にやさしく食事中に向きます。

茶色とは？お茶はグリーンですよ。色んな説がありますが、お茶で布を染めるとカテキンが酸化して茶色になるからだそうです。

お茶を濁すは抹茶を頂く茶道では本来様々な作法がありその一挙手一投足が注目されます。マナーや作法を知らない人がごまかすようにして抹茶を濁すようにかき混ぜ、それでその場を取り繕う姿から出たそうです。

2) 今週の花：「カーネーション」花言葉「無垢で深い愛」



服部 正 君		ポリオ \$ 20	( \$ 2,572)
五十嵐大吾 君	\$ 20	ポリオ \$ 10	( \$ 4,180)
角南 邦彦 君	\$ 100	ポリオ \$ 10	( \$ 11,722)
津吉 孝司 君	\$ 50		( \$ 4,310)

・米山奨学委員会 (五十嵐 大吾 委員長)



五十嵐大吾 君	¥2,000	(¥182,000)
加藤 弘次 君	¥5,000	(¥85,000)
宮尾 益佳 君	¥5,000	(¥135,000)
富山 修一 君	¥2,000	(¥255,000)
津吉 孝司 君	¥5,000	(¥591,000)

4) ニコニコボックス紹介 (西潟 健徳 委員長)

1件



浅川 進君…小池さん、本日はお忙しいところ、ありがとうございます。楽しい話、期待しています。

27日の会員増強委員会では積極的な情報交換をお願いします。

#### 5) 会員増強委員会 (小野 充二 委員長)



現在会員数106名となっていますが、富山年度あと約2か月で110名(当初100名の1割増)を目標としており、

#### 6) 幹事報告 (田村 淑文 幹事)

- ・本日の理事役員会において、平塚幸雄さんの退会が承認されました。
- ・6月14日に3ロータリークラブ合同例会開催が決定しました。会員の皆様に案内を送付します。なお、当日欠席の方はメーカーキャップが必要となります。

会員数	算定対象者	出席者	出席率
106	104	89	85.58

### 《卓話》

「ありがとうの言霊と商品開発」

小池ろうそく店 四代目当主 小池 孝男 氏

皆さんこんにちは。江南区所島にある小池ろうそく店をやっております。創業は明治26年で、僕は4代目当主です。弥彦神社はもちろん、明治神宮にも県の指定にて20年以上連続して献上、ほか有名な神社仏閣にろうそくを納めております。ろうそくは手作りで弟子が15人くらい手で書いています。生産量の8割が9割は県外へ出荷しますので、新潟に残っているのはごくわずかです。

名刺でご挨拶をしても、「ろうそく店」とは何をやっているのか、とよく聞かれます。全国でろうそく屋さん20店を切ったと言われていまして、絶滅危惧種では？とも言われます。かえて面白がっていただいて、この2月にNHKさんで特集を放映、雑誌でも8ページにもわたって特集をしていただきました。

絵ろうそくのお話をします。雪国の新潟は冬の間に花がなく、お葬式もたくさんあるなか、あまりにも気の毒だねということで、ろうそくに花の絵を描いてお供えの代わりにしていたという言い伝えがあります。当時は、専門の職人がいる訳でもなく、手探り状態でさりげない色彩だったのだと思います。それが徐々に形を整え「金箔・銀箔」を張り詰めた豪華な装飾にまで進化を遂げています。高価なお線香ならあるのに、ろうそくにはいいものがない、そういう声を聞くことがあります。大切な葬儀や法事に、普通のろうそくでいいの？と疑問を感じる方がお店にいらっしゃって、やっといういいものを見つけたと喜んでお帰りになります。ただまだあまり知られていなくて、「ろうそく」というとクリスマスや誕生日と思う方がほとんどです。そんな中でこういう絵ろうそくを見つけると知らない方はびっくりされる。でも歴史は長く、はるか超える昔から絵ろうそくは存在したと言われていまして。

火をつけて消えていく花の絵は、仏様に花が届くという言い伝えがあります。これはある意味、新潟の心の文化だと思います。新潟は食べ物の文化がよく注目されるのですが、この絵ろうそくは、心の文化の象徴的なものになると思います。昔からの流れがあって今がある、いきなり出来

紹介者：浅川 進君



たものではないと思うので、その流れも今後伝えていくべきかなあという気がします。先祖を敬う気持ちが生んだ越後の花ろうそく。新潟の文化を伝えつつ、ろうそくの新たな可能性と役割が見えてきました。

亀田のほうにショールームがあります。白いろろうそくもいいけど絵のついたきれいなろうそくはどうでしょうかと提案させていただきたいと思います。

今日の演題「ありがとうの言霊」についてお話をさせていただきます。ろうそくに火をつけて手を合わせる、これはありがとうの姿勢だと言われていまして。だったらろうそくにありがとうと書いてあったらいいんじゃないか。そこで「ありがとうろうそく」を作りました。すると、例えば電話で注文を受けた際「ありがとうろうそくを買いたいのですが」「はいありがとうろうそくですね」「ありがとうろうそくをいくつですか」「はいありがとうろうそくが何個でいくぐらいになります」「ありがとうございます」と、「ありがとう」をたくさん言っています。

水はありがとうの言霊できれいな結晶になるという研究報告があります。ということは、「ありがとう」を言っていると、健康になっていく。身体がきれいになっていきます。皆さんもぜひやってみてください。

私も「ありがとう」の心でろうそくをやっていきたくて思っています。今日はありがとうございました。

